

地元小学生が見学

ペール缶メーカーの前田製作所（本社・東京都中央区、社長・前田洋子氏）は26日、千葉工場（千葉県市原市）で



地元の小学生を受け入れ、見学会を実施した。写真。ものづくりや

ペール缶の魅力に触れてもらおうと、地域貢献の一環で取り組んでおり、新型コロナウイルス感染症5類に移行したのを機に再開している。

この日は青葉台小学校の3年生ら約60人が訪れ、四つのグループに分かれて金属ペール缶とプラスチックペー

ル缶の製造ラインを見学。案内役の担当者からは、それぞれのペール缶がどのように作られ、リサイクルするかといった説明がなされ、子どもたちは熱心に聞き入っていた。

同社ではCSR（企業の社会的責任）活動に力を入れている。5月には白幡小学校の3年生ら約20人も千葉工場を見学。今後も次世代の担い手に学びの場を提供するのをはじめ、地域との共生を旨とした多様な取り組みを推進していく。